

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

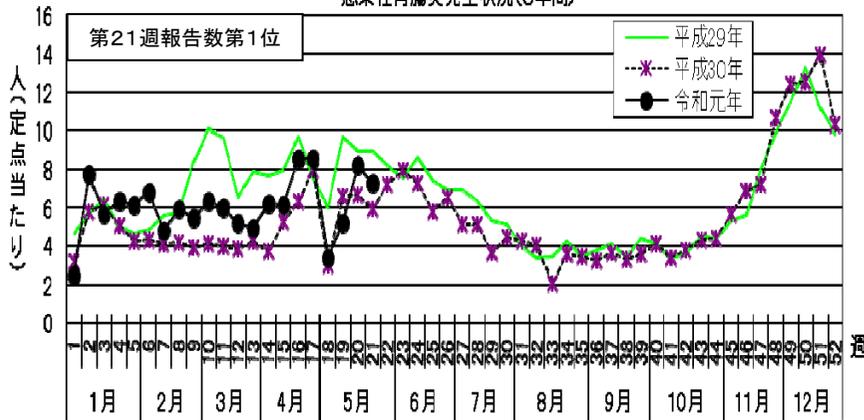
令和元年5月20日（月）～令和元年5月26日（日）〔令和元年第21週〕の感染症発生状況

第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.30人と前週（8.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.57人と前週（4.32人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は0.77人と前週（1.49人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

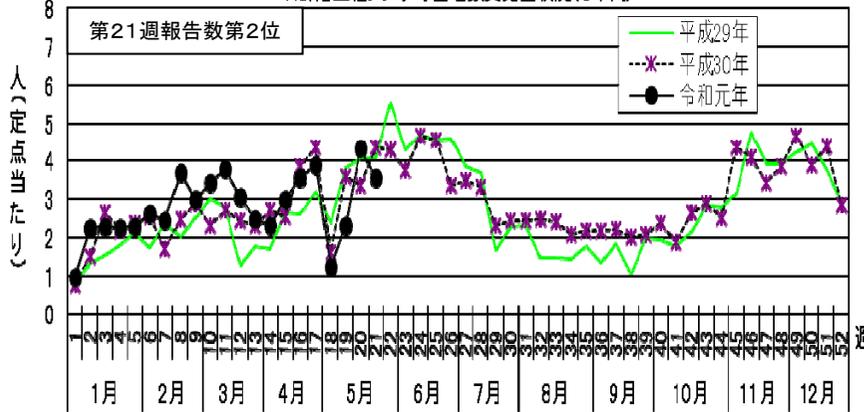
★麻しんウイルス★
ハシカンくん



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



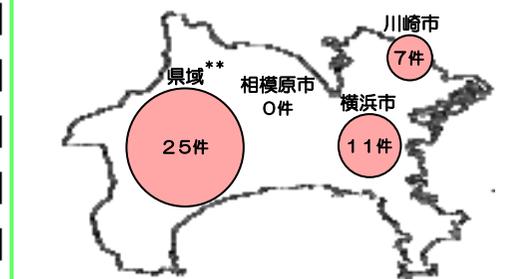
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



神奈川県内でも麻しん（はしか）の報告数が増加しています！

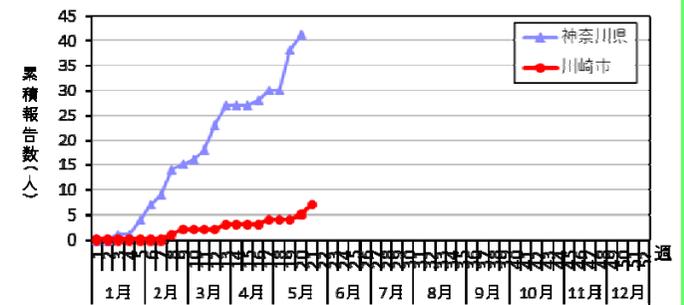
現在、首都圏など大都市を中心に麻しんの患者報告数が増加しています。神奈川県内でも令和元年第20週（5月13日～5月19日）までに41件の報告があり、今年の1月下旬以降報告数が増えています。川崎市においては、第21週（5月20日～5月26日）に麻しんの報告が2件あり、計7件となりました。定期予防接種の対象の方は出来るだけ早く接種を済ませ、今までに接種歴及び罹患歴のいずれもない方はワクチン接種を御検討いただき、麻しんの感染や重症化を防ぎましょう。

神奈川県における麻しん発生状況*（令和元年）



*川崎市は第21週までの累積報告数を掲載、県域・横浜市・相模原市は、各自自治体の第20週の週報に記載された累積報告数（令和元年5月23日現在）を掲載
 **川崎市、横浜市、相模原市を除いた地域

神奈川県及び川崎市における麻しん累積報告数（令和元年）



麻しんに感染した疑いがある場合には、事前に電話で症状や流行地への旅行歴、麻しん患者との接触歴などを伝えた上で、医療機関を受診しましょう。また、受診の際は、事前に**母子健康手帳でワクチン接種歴を確認し**、必ず主治医に伝えてください。